



ば は ら 波 原 便 り 高

県立辺土名高等学校
令和7年7月18日(金)
発行者 校長 桃原健次
第9号

地域と連携・特設授業:「やんばるのチョウ(1-1)」、「イーブー釣り(2-1)」

本校は世界自然遺産の森林や国立公園に隣接しており、フィールドでの自然体験学習が最大の特色である。そこで、地域学校協働活動推進員(仲本)がコーディネートし7月に2つの野外学習を行いました。7月14日(月)は1年1組の生徒が大宜味村喜如嘉のバタフライガーデンにおいて、やんばるの森に分布するチョウの種類や食草など、生態を観察し、御嶽所の森の散策を行いました。7月16日(水)には2年1組が地域の伝統的な川遊びを体験した。大宜味村田嘉里共同店に勤める金城幸夫さんを講師として、イーブー(ハゼの仲間)の生態や釣り方、川の危険等について学び、田嘉里川で釣りを行いました。



交通安全講話 7月16日(水)3校時

夏休みを前に安心・安全に過ごすために、県警白バイ隊員、運転免許センター講師等を勤めた、現在大同火災海上保険(株)に勤務している交通安全アドバイザーの照屋勝則氏を招き、自動車・自転車運転のながらスマホの危険や、刑罰もどんどん厳しくなっているが、時間がたつと、事故は増えてくる。いちごっこの状況があることが説明された。生徒にとって身近な自転車についても当てはまることで、車、人との事故が増え、2026年4月から16歳以上を対象に罰金が、ながらスマホが1万2千円、信号無視6千円、イヤホン装着5千円の罰金が課せられる等の注意啓発がなされました。また、「自分の将来のために、飲酒・喫煙・違法薬物・闇バイト等について、善か悪かでしっかり判断し行動しなければならない。」また、講師の人生訓?「何のために仕事するか、遊ぶために仕事をする。仕事100%、遊び100%、善悪を考え、他人に迷惑をかけない。」ことが重要である。講師は何台も乗り物を集めていて、安全な場所で、他人に迷惑をかけないように楽しんで乗っているとのことであった。



地域の子供達へ読み聞かせ

7月9日(水)午後4時、国頭村・大宜味村から子ども居場所委託事業に通う「ウリボーキッズ(小学生7名)」を受け入れ、本校図書委員会(2年4名:高村・花城・眞喜志・小橋川)により、読み聞かせを行いました。子どもたちは絵本の世界に引き込まれ、一生懸命に耳を傾けて楽しそうな様子が見られました。2学期には地域のこども園での読み聞かせを予定しており、今回は経験を積む良い機会になりました。

その他

◎創立80周年記念事業として、8月30日(土)午後6:30~名護市民会館において、チャリティー芸能公演を行います。学校HPで紹介。当日参加も可。

★8月31日までの長い夏休みです。興味のある、得意なことを更に深める期間として、健康で安全に過ごし、二学期、元気な姿で皆さんと会えることを楽しみにしています(^o^)/~~~